



保護者との懇談会 虹のかけはし しおさい 天真庵

8月27日（金）、天真庵にて通所事業部の保護者との懇談会が開催されました。今年は初めて天真庵を貸し切ったの会となり、不安もありましたが、ドアを開けると利用者の笑顔が出迎えてくれ、不安が一気に吹き飛びました。

見慣れた顔が集まり、家庭（天真庵）に親戚（虹かけ・しおさい）を招いている様なアットホームな雰囲気の中での幕開けとなりました。天真庵特製の料理に舌鼓を打ち、家庭的な雰囲気を満喫し、自然体で会話も弾み、楽しい交流の時間を過ごす事が出来ました。懇談会の半ばには、虹のかけはしの石井江梨子さんの実習先での体験談についての発表がありました。実習先での仕事内容やこれからの決意等を心を込めて話してくれ、大事な仲間の話を真剣に聞き入る利用者の姿が見られました。その後、利用者一人ひとりが今後の抱負を発表し、利用者の言葉の一つひとつから未来に向けた一生懸命な思いが伝

わってきました。

楽しい時間は直ぐに過ぎ去り、天真庵の居心地や雰囲気の良さに帰りがたらない方もいましたが、それは次回のお楽しみ。各事業所同士が触れ合い、融合し、家族団欒の様な幸せな一時を過ごす事が出来ました。



ハートフル・イン・やしおみ やしおみ荘

7月23日（金）、第14回ハートフル・イン・やしおみを開催しました。小学校5・6年生を中心に15名の子どもたちが利用者の方々とはふれあい、福祉について学んできました。施設を見学した後、利用者と折り紙あそびで交流を図り、インスタントシニアの体験をしていただきました。



た。戸惑いながらも、初めての体験に興味を持って取り組んでいました。昼食は利用者と一緒にとり、口数が少なく緊張しているようでした。午後はちゃーむ見学、虹のかけはしにてシュークリーム作りを体験し、物を作ることで子どもたちの緊張も解けたように思いました。子どもたちにとって楽しく、新鮮な時間を過ごせたようでした。この経験が、福祉を身近な事と感じられる一歩となれば良いと思いました。ご協力いただきました、小学校・塾の先生方、保護者の皆様、各施設の皆様この場をお借りして御礼に代えさせていただきます。ありがとうございました。

フレンドリーシップ in ふじみ ふじみ更生園

7月29日（木）、大倉保育園の園児たちと福祉ボランティアを招いて交流を図る「フレンドリーシップ in ふじみ」が行われました。当日の朝はあいにくの曇り空。保育園のバスが到着する頃には小雨が降り出す始末…。しかし、園児たちのダンスや歌が始まると、利用者たちの元気なこと。福祉ボランティアによる輪投げなどのゲームも、大盛り上がりでした。素敵な笑顔で交流ホームがいっぱいになった後は、皆仲良く昼食タイム。午後のミュージックケアで交流を深め、利用者全員でアーチを作り園児たちをお見送りしました。外は雨でも皆の顔は太陽のよ

うに輝いた、そんなひとときでした。



カラオケ大会 天真庵

7月10日（土）、天真庵として初めてのカラオケ大会が「まねきねこ」において開催されました。先に楽しみが待っていれば、仕事も頑張れるというもの。午前中には、普段にも増して張り切って作業に取り組んでいる利用者の姿が見られました。カラオケ大会に先立ち、先ずは小名浜の障がい者が通う食堂「はつね」にてお弁当を注文し、さらに作業を見学させて頂きました。同業の利用者の働く姿を初めて目にしたことで、お互いに刺激を受けていたよう

です。

見学を終えると、いよいよカラオケ大会の開始。食事でも早々と済ませ、我先にとマイクの取り合いとなり、自慢の美声を披露するステージが繰り広げられました。最初は恥ずかしがっていた利用者のテンションも徐々にヒートアップ。最後には全員で大合唱でお開きとなり、初めてのカラオケ大会は大成功で幕を閉じました。



いわき踊り勿来大会 レジデンスなこそ 虹のかけはし しおさい 天真庵 メゾン・ド・あたご メゾン・ド・ほりきり

7月31日（土）、今年もドンドンドンドドンワッセのメロディに乗り、いわきの夏ならではのいわき踊り勿来大会に参加しました。いわき踊りに参加する事を楽しみにしている利用者が多々見られ、何ヶ月前からいわき踊りの話題が出ては、踊りの練習をする姿が見られました。



当日は晴天にも恵まれ、お祭り日和。真夏の様な暑さから、熱い気持ちをもらい、それを力に代え、いわき踊りが幕を開けました。各事業所が自慢の衣装を身にまとい、一生懸命な思いを込めた踊りを披露してくれました。「ソーレ」と声を囁らしながら合いの手を入れる利用者の姿や沿道の方に手を振る利用者の姿も見られ、思い思いの時間を過ごす事が出来ました。踊り方も人それぞれ。楽しみ方も人それぞれ。それを互いに認め合い、支えあい、融合し、6事業所が一体となって素敵な形を作り、いわき踊りに参加することが出来ました。

入賞こそ逃しましたが、今年もいわき踊り勿来大会へ各事業所が合同参加できた事は、法人内に及び地域との交流と言う意味で、非常に意義のある事でした。本当にありがとうございました。

いわき花火大会 虹のかけはし・ワークセンターしおさい

8月7日（土）毎年恒例の、市内最大級イベント・いわき花火大会に販売参加しました。多くの屋台が並んでいる中、虹のかけはしはパンとシュークリームを、しおさいは焼きうどんを販売しました。

日中はまばらだったお客様も、花火大会の時間が近づくにつれ徐々に集まり、夕方には屋台の前に長蛇の列ができました。用意していたしおさいの焼きうどん数百食は次から次へと焼いても間に合わないほどの注文を頂き、未だ明るいうちに完売しました。虹のかけはしでは3人の利用者が家族と共に販売に参加し、明るく元気な声でお客様に呼び込みを行いました。3種のカレーパンと冷凍シュークリームも花火大会真っ盛りの頃には完売し、沢山のお客様の花火見物のお供になりました。

そして最後はみんなで花火見物。豪華な花火を見た後は早くも次回の花火大会に向け、「また頑張ろ

う」と思った1日でした。

当日は炎天下の中、ご家族・ボランティアの方には調理・販売をお手伝い頂きました。ありがとうございました。



未帰省者外出 ふじみ更生園

8月20日(金)、さくら通り女子利用者が田人おふくろの宿へ外出しました。天候も良く絶好の外出日和。宿に到着し、楽しみにしていた昼食の時間。メニューはお刺身、生姜焼き、天ぷら等盛り沢山です。皆「美味しいね」と夢中でほおばっていました。食後は大きなお風呂にゆっくり浸かりながら、地

域の方との交流を図ることもできました。帰る時には大満足の笑顔。皆の笑顔は真夏の太陽よりも輝いていました。また、24日(火)にコスモス通り女子利用者が鹿島ショッピングセンターへ。31日(火)にさくら通り男子利用者が古滝屋へそれぞれ外出し楽しい時間を過ごされました。



日帰り旅行 ～おふくろの宿・土みに館～ やしおみ荘

9月3日(金)、利用者13名は自然あふれた場所に立地し、宿泊・入浴施設も備えた田人おふくろの宿において会食し、同じ田人町の土みに館にて陶芸体験を行ないました。



送迎バスの中では、これからどこに行くのかと楽しみにしている方、会食を楽しみにしている方など、一人ひとりが日帰り旅行を心待ちにしている様子でした。

た。おふくろの宿に到着すると、食事の準備がすでに整っており、きれいに盛り付けられたお膳を目の前にし、目を輝かせていました。どのおかずから食べようか迷いながら食事を進め、満面の笑みの中、会話も弾んでいました。

食事を終えると、今度は陶芸体験です。陶芸教室の先生のご指導のもと、模様のついた型に粘土をかぶせ、皿等を作製しました。一人ひとり異なった個性的な作品が仕上がり、世界に一つしかない思い出の品が出来ました。乾燥してから、陶器を焼くため、完成したのは後日。焼き上がった陶器を一人ひとりの利用者に手渡すと、当日の思い出を振り返りながら、出来上がった作品を笑顔で見つめていました。

一泊旅行 ～本州を離れ、いざ佐渡へ～ やしおみ荘

9月23日(木)～24日(金)、新潟・佐渡方面に一泊旅行へ出発しました。バスの中は悪天候に負けにくいぐらいの明るい歌声が響き渡っていました。新潟港から佐渡へ渡る際、船とジェット機の特徴を合わせ持った『ジェットfoil』に乗船し、今までに体験したことのない速い船に感激しながらも、窓から眺めた新潟港もあっという間に見えなくなり、カーフェリーでは2時間かかるところを1時間あまりで佐渡へ。

佐渡歴史伝説館では佐渡の歴史をその時代の偉人を通して知り、利用者の中には人形の細かい動作と表情に驚きながらも見入ってしまう方もいました。また、拉致被害者の夫・ジェンキンスさんが店頭で働いている姿を拝見し、利用者と共に笑顔で写真撮影して頂きました。佐渡金山では、金の延べ棒を片手で持ち上げるコーナーがあり、利用者・職員が一人ひとり挑戦しましたが、結果は惨敗でした。

ホテルでは日本海を目の前に臨むお風呂でお月見です。月明かりに照らされた海は、太平洋とはまた異なり、感動的でした。宴会では、日本海の水の恵みをはじめ、佐渡名

物のおけさ柿もあり、どれから手をつけようか悩んでいる姿は、どの利用者も満面の笑顔でした。

翌日は天候も持ち直し、大佐渡スカイラインを経由し、国の特別天然記念物に指定されている朱鷺の森公園の朱鷺を観賞しました。朱鷺は警戒心が強いいため、少し離れた場所にて双眼鏡での観賞でしたが、可愛らしい赤い顔と黒い嘴、大きな白い翼は今でも心に残っています。



遠方への旅行でしたが、歴史と海・山の自然に触れ、なかなかできない体験を通して、利用者一人ひとりの心のアルバムにたくさんの思い出が刻まれた2日間でした。

上遠野中学校職場体験学習 ふじみ更生園

9月8日(水)～9日(木)に上遠野中学校より4名の学生が来園し、職場体験学習を行ないました。利用者は数日前から「いつ来るの?」と楽しみにしており、当日学生の姿が見えると玄関に集まりお出迎えをしました。それぞれに挨拶を交わした後、一緒に日課に参加をしてもらいました。創作活動、クッキー作業、ミュージックケアを行い、

初めは緊張していた学生の皆さんも、時間が経つと笑顔も見られました。慣れないながらも一生懸命に利用者に関わろうとする姿や、職員の仕事の様子を観察する姿があり、熱心に取り組んでいました。中学生の皆さんには是非この体験を将来に活かして欲しいと思います。

通所事業部合同日帰り旅行 ～日本三景松島散策 遊覧船と笹かま体験の旅～ 虹のかけはし しおさい 天真庵

9月20日（月）、通所事業部合同日帰り旅行が行われました。今回は初めての試みとなる三事業所合同での旅行であり、どの様な未来が待っているのか、未知の世界であり、不安と期待を乗せて松島への出発となりました。

まず始めに、塩釜のかまぼこ工場へ行き笹かま製造体験を行いました。実際に宮城県の名物笹かまを手にし、火で炙り、自分で作った出来立ての笹かまを前に、一段と笑顔が見られ、口へと頬張ると「美味しい」との言葉が聞かれ、



自分で心を込めて大事に作った笹かまは日本一の味がしました。

昼食を終えると、旅のメインである松島港へ向かう遊覧船に乗り込み、通所事業部を乗せた船は出航。乗船するや否や、カモメへの餌付けが始まりました。初めは、怖がって餌を投げる利用者の姿が見られましたが、少しずつ餌を手持っては、直接カモメに餌付けする等少しずつカモメとの距離を縮める微笑ましい場面も見られました。ゆったりと船に揺られながら、松島の美しい風景を見て穏やかな気持ちになった事等が媒介となり、各事業所同士が触れ合う姿も見られました。各々が思い思いの癒しの時間を過ごす事が出来ました。

旅の最後は、松島散策。みちのく伊達政宗歴史館やオルゴール館等、それぞれの心惹かれる場所へ行っては素敵な時間を過ごす事が出来ました。少々時間が足りないと言った言葉も聞かれましたが、それは充実した時間を過ごした証拠。各事業所同士が触れ合った松島での素敵な思い出を乗せて、帰路へと着きました。

合同一泊旅行 ～日光猿軍団・龍王峡散策と鬼怒川温泉の旅～ レジデンスなこそ メリソ・ド・ほりきり メリソ・ド・あたこ

9月25日（土）～26日（日）合同一泊旅行を行いました。みなさんからの「自然の中を散策したい」「温泉に入りたい」との希望で栃木方面の旅となり15名の利用者が参加しました。日光東照宮で歴史に触れ、豪華な食事と温泉を満喫し、日光猿軍団のショーに腹を抱えて大笑いする人もおり、終始笑顔のたえない旅行となりました。龍王峡の足元の悪い所では、お互いに助け合い仲間を思いやる姿が見られました。

あっという間に楽しい時間が過ぎ、沢山の思い出と両手にいっぱいのお土産を抱え笑顔で帰って来ました。利用者・職員共々更に交流を深める事が出来た素敵な旅行となりました。



野菜作り レジデンスなこそ



今年度より裏の空き地を利用して野菜作りを行なっています。空き地を耕し、利用者と職員で土づくりをしました。その後、さつまいも・スイカ・夏野菜等の苗を植えました。今年は猛暑で草取り手入れ等も大変でしたが、キュウリやトマト、ナス等はたくさん収穫

がありました。これらの野菜は、調理実習の食材として活用しています。スイカも小さいものが収穫出来ました。来年はこの経験を生かし、畑の面積を増やしてもっと沢山の種類の野菜を作りたいと思います。

スイカ割り ちゃーむ

8月23日（月）、夏休み恒例のスイカ割りを行いました。

スイカ割りの説明を聞いた後、タオルで目隠しをしてスタートしました。

まずは小学生から、みんなの声援と職員の誘導でスイカを目指して前へ進んでいきスイカの前で、棒を勢い良く振り下ろしま

した。棒がスイカにあたると大きな歓声が上がりました。なかなか割れない大きなスイカでしたが、最後は、中学生が力強い姿を見せてくれ割ることができました。スイカ割りの後は、甘くておいしいスイカを食べ大満足の子もたちでした。



ふじみの森フェスティバル ふじみ更生園

9月18日(土)、秋晴れの中、園庭にてふじみの森フェスティバルが開催されました。昨年は改修工事の為開催出来ませんでしたが、その分今年は利用者・職員一同気合が入っていました。



東田保育園の東田太鼓とよさこい踊りのオープニングで盛大にスタートしたふじみの森フェスティバル。志摩幸子さん、菊池章夫さんのコンサートの他に新たにアロハ会の懐メロメロ

レーやマッセ禁止のお笑いライブが加わりました。菊池章夫さんの歌謡ショーでは嬉しさのあまりステージに上がりバックダンサーに変身してしまった方や焼き鳥を手にしたままステージに駆け寄る方など、皆楽しんでおりました。催し物も恒例のバザーやゲームコーナー、模擬店ではおさい自慢のうどんや虹のかけはし特製カップケーキ等が大盛況で、列をつくっている模擬店も見られました。そして最後は豪華景品が当たるお楽しみ抽選会。外れてしまった方、来年の挑戦をお待ちしております。

お忙しい中ご参加いただきました来賓の方々、暑い中ボランティアで協力して下さった皆様や地域の皆様及び協賛頂きました方々に、この場をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

浜通り地区知的障がい者施設対抗スポーツ大会

ふじみ更生園

9月26日(日)、富岡町にて浜通り地区知的障がい者施設スポーツ大会が開催されました。

ふじみ更生園からは10名の利用者が参加し、女子は輪にディスクを通すア

キュラシー、男子はディスクの飛距離を競うディスタンスに挑戦しました。自己記録を更新した方や緊張してしまい実力が発揮できなかった方など結果は様々でしたが、競技終了後は皆堂々と観客席に戻っていました。残念ながら入賞は逃しましたが、利用者・職員共々「来年こそは!」と意気込みを新たにしていました。



食欲の秋 虹のかけはし ワークセンターしおさい 天真庵

猛暑だった夏が過ぎ、涼しい過ごしやすい季節となりました。秋と言えば、何と言っても食欲の秋。植田駅前の虹のかけはしでは、愛情込めたパン・シュークリーム(100円～120円)を製造販売しています。利用者が中心となり、役割分担し、心を込めた美味しい商品作りに努めています。9月からは秋限定のマロンパンやさつまパンが登場。秋ならではの素敵な味に仕上がっています。小名浜のワークセンターしおさいでは、うどん・ラーメン・きしめん(1人前100円)を製造販売しています。コシの強いつるつるの麺には、リピーターも沢山います。うどん専門店天真庵は植田に所在し、しおさいで製造したうどんを使用しています。利用者の丁寧な接客も店の自慢です。また、日替わりの手作り弁当(400円)の製造販売も行っており、1個からでも配達が可能です。3事業所の素敵な商品、是非ご賞味下さい。注文も、随時承っています。また、訪問販売先も随時募集しておりますので、訪問販売可能な場所があればご連絡下さい。皆様にお逢い出来る事を、利用者共々心から楽しみにしております。

虹のかけはし Tel. 0246 (77) 2885 ワークセンターしおさい Tel. 0246 (73) 2077 天真庵 Tel. 0246 (77) 2033

寄付を頂いた方

- ・星野貴美子 様
- ・富士ゼロックス福島(株) 端数倶楽部 様
- ・福島県社会福祉協議会様を通して、北日本コンピューターサービスKK東北支社様(秋田県 秋田市)より「車椅子1台」
- ・富士ゼロックス福島(株) いわき営業センター 様
- ・佐藤理容所 様

編集後記

今年の夏は、記録的な猛暑。その影響もあって、野菜や果物が高騰し、葉の色づきもいまひとつとか。秋の楽しみが…と、ふと外を眺めれば、夏の暑さを忘れさせる涼しげな風に、虫の音と名月。秋、見つけた。ちょっとした秋に気持ちもほっこり。もう少し探してみようかな。

これからの予定

やしおみ荘

- 10月
 - ◎一泊旅行
 - ◎市民総ぐるみ運動
 - ◎ウォーキング
- 11月
 - ◎やしおみ荘へ行く
 - ◎龍神峡祭り
 - ◎社会性自立支援
- 12月
 - ◎障害者の記念行事参加
 - ◎忘年会
 - ◎クリスマス会
 - ◎冬期一時帰省
 - ◎未帰省者食事会(ビデオ鑑賞)

ふじみ更生園

- 10月
 - ◎市民総ぐるみ運動
 - ◎総合防災訓練
 - ◎健康ウォーキング
- 11月
 - ◎一泊旅行
 - ◎日帰り旅行
- 12月
 - ◎クリスマス会
 - ◎忘年会

虹のかけはし

- 10月
 - ◎いわき明星大学祭
 - ◎植田歩行者天国
 - ◎わいの家フリーマーケット

- 11月
 - ◎ボウリング大会
 - ◎龍神峡祭り
- 12月
 - ◎合同クリスマス会 忘年会

ワークセンターしおさい

- 10月
 - ◎いわき明星大学祭
 - ◎植田歩行者天国
- 12月
 - ◎合同クリスマス会 忘年会

レジデンス・GH/CH合同

- 10月
 - ◎焼肉パーティー
- 12月
 - ◎クリスマス会

デイサービスチャーむ

- 10月
 - ◎ハロウィン
 - ◎芋煮会
- 11月
 - ◎料理教室
- ◎収穫祭
- 12月
 - ◎クリスマス会
 - ◎ふじみ更生園もちつき大会参加

天真庵

- 10月
 - ◎植田歩行者天国
- 12月
 - ◎合同クリスマス会 忘年会